

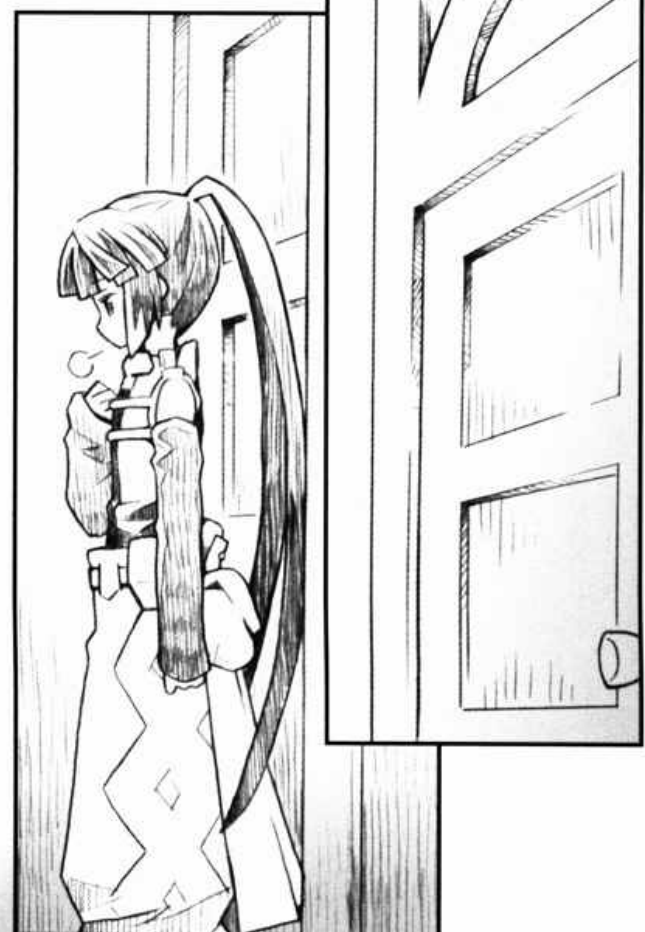
R-18
Adult Only!

LOGHORIZON
FAN BOOK
FOR
SHIROE × AKATSUKI

猫とお茶と休日と。







そうですにや、
シロエちがゆっくり
休めるように

吾輩が何か
考えておくことに
しますにやあ。

それは有難い！
かたじけない、老師。

猫とお茶と休日と。

—と
いう事で：

仕事が一段落した
シロエは
アカツキをお供に、
ニヤン太班長が
ゲーム時代に使って
いたという別荘に
行ったのでした。

馬移動で。

うん、
そうみたい。

あ、

主君、
あれではないか？





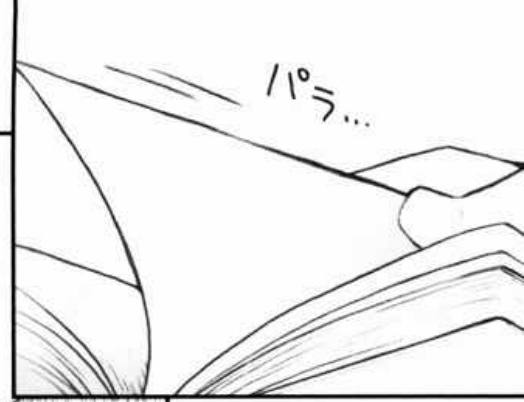
なんだか、不思議な味がするお茶だ...



有難う。ゆつくりのませてもらうよ。

あ、ああ...

なんと





う...
フラ...



—班長—

ニヤン太班長!

そんなのんきな事
言ってる場合じゃ
ないよ...

あのお茶
何なの?

これはこれは
シロエち、

そちらはどう
ですかにやあ?

にやあ、もう飲んだ
のですかにや?

やっぱり あのお茶
何か入ってたの?

シロエちは恋に
奥手みたいなので、

ちよつと背中を
押してあげようと
思いましたにやあ...

ほらほら、そんな事
だからアカツキっちの
気持ちに気付いて
あげられないの
ですにやあ

え、

アカツキの?

え? 恋!?
どういう事??

ちよ、ちよつと
待って、急に
そんな事言われても...

急じゃないですよにや。
アカツキっちはずっと
前から待っていますにやあ

シロエちも男らしく
はつきりさせたら
どうですかにや?



その茶葉には「媚薬」の
効果がありますにや。

…まあ…2、3発やれば
おさまりますにやあ

は…

2、3発…って



それでは、シロエち
頑張ってくださいにやあ

はあはあ!?

班長!?



いやいやいや!

ちよつと待つてよ
ニヤン太班長!!

…ブツン…
— 通話拒否 —



主君…
どうしよう…



だんだん…自分の身体…
なくなってくるみたい…



ひどいな…
何言ってるんだよ
こんなの、B級エロゲでも
言わないぞ…

もし、アカツキが
嫌じゃなければ…

僕と…
する？



…ごめん、アカツキ
辛いよね？

こうなったのは
僕の責任でもある
んだ…

だから…
…その…

どうしよう…
こんな時、何て
言ったらいいのか…



こわい…



ほら…
アカツキ、すごく
困ってる…

あッ

い、嫌だったら
はっきり言って
いいから…ね？

……



うん…ありがとう、
アカツキ…

主君と…
…したい…



嫌じゃない！

!

ぎゅっ

——で、とりあえず、
寝室へ……



……でも、
今はそんな事考えてる
場合じゃない……





この世界でも
こういう行為って
生々しいんだな！



ナニッ

ん？

どうかした？

うっ…



ゴッ

アカツキ！
悪いけど、今は
恥ずかしがってる
場合じゃないから

あうッ



…この状況で、
恥ずかしがるとか、
大した精神力だ！
だけど…

わな
わな



や、やっぱり
恥ずかしい…

…小さいし…

身体の方はどんどん
辛くなるから



早く楽にして
あげるのが先だ!



わ…やっぱり
小さいなあ…
けど柔らかい♥



だ…め!

やだ…



ひっ!!

びくん!!

きん

きん

あ

ああ

は…

…え…も、もう?
アカツキ、結構我慢
してたんだ…



はっ

はっ



でも、まだまだ
だよな?

はっ

はっ

アカツキ
下、脱がすよ？

だッ

「だめ」は
ナシだよ？

ぼッ

…まだ、
全然足りない
よね？

えッ…

わ、わかった。

ッ…

や…みッ…
見ないでッ…

うん。
良い子だ。

す…

たろね

…え…



や...あッ

はあ
あ

ふあああ...

あッ

あッあッ...

ああ

はあッ

はあッ

ん...

はッ

うああ...

ふあ

ちゅちゅちゅ
ちゅちゅちゅ

びくん!

ごめんアカツキ、
慣らせておかないと...

よく濡れてる
けど...
キツいな...

あッ

あッ

あッ

ぬる
ぬる

ぬる
ぬる

ひあッ

ひッ

だめッ...だめえ

ちゅちゅ
ちゅちゅ

ちゅちゅ
ちゅちゅ

ぬちゅ
ぬちゅ



あッ…触らない
でッ…

一人でしただめ…
今度は私の番だ…

う…あッ
ダメ…

ビクッ!

え



主君



え



ちよつと待って
拭くものを…

ごッ
ごめん!

ね…

ちよ
び…



あ…

どろろ



うん。





びくん♡

ふあ…

あ…は…

あ

はあ…

ピュッ

ピュル

あ…いめッ
…出る…ッ



ぬるっ

大丈夫？
アカツキ…

ん…

主君…
…ごめんね…



...朝か...

むん...

うーん...昨日の事、
全然実感が無い...
お茶のせいかな？



おはよ。
あの...身体、
大丈夫？

あ、ん...
大丈夫。



おはよう、
主君。

でも、やっぱり
夢じゃないんだ...

※髪おろしてます。







シロエち達は
あれから上手く
いったみたい
ですよああ…

今度は、直継ちと
マリエールちに
試してみようか
にやあ

と
ぽぽぽ…

めでたし
めでたし
ですよ♡

ふふふ…



そうですか？
戸棚の奥にあった
お茶なんですけど…

あ…ほんと
不思議な味ですね。



このお茶…
面白い味が
しますにや…

ん？



あれ？ 何だか
からだがあつた
ようになってきた
ような…

はふう
ガーン!
ニヤン…



飲んでしまった
ですよあ…

媚薬を!!

し、しまった…



めでたし、めでたし!?



猫とお茶と休日と。

発行日 2014/08/16

発行者 B.tarou

E-mail bbrs@shirayuki.saiin.net

印刷 日光企画

無断転載、web へのアップロード
未成年の閲覧はお止め下さい。



猫とお茶と休日と。